

TSK



きゅうどうしゃ



カワヨグリーン牧場



ボウリング大会



ハロウィン



十和田市秋祭り



親の会レクレーション



東地区レク

発行日 2018年12月15日

編集者 社会福祉法人 求道舎

No. 61

クローバー作業所

親の会レク

今年度は、6月と8月に親の会レクが行われました。たくさんのご参加ありがとうございました。

6月20日には、カワヨグリン牧場でBBQを行いました。食べきれないほどのお肉や野菜が準備されており、お腹いっぱいになりました。

8月31日は、イオン下田へ行き、ポウリングとお買い物を楽しみました。ポウリングでは、みんなそれぞれ個性豊かなフォームでボールを投げ、ストライクが出ると歓声と笑



顔が溢れていました。昼食は、それぞれ食べたものを選んで食べました。昼食後は、館内を自由に歩き回って買ったものを買い、集合時には、それぞれ購入した品々を手にならせた！と満足げな様子でした。

親の会レクは利用者さん、親御さん、職員が触れ合える貴重な活動です。次回の親の会レクは、新年会を予定しています。今から待ち遠しいですね！

ハロウィンBBQ

10月12日、利用者レクを行いました。内容は、BBQと先取りハロウィン♪また、BBQと同時に、秋のクリーン活動も行いました。

10時、クリーン活動組とBBQ準備組に分かれて、作業スタートしました。クリーン活動組は、近所の公園やその近辺のゴミ拾いに行きました。BBQ準備組は、会場

準備・おにぎり作り・お菓子準備の3班に分かれて作業しました。ブルーシートを拭いたり、ほかほかのご飯を丸めたり、ハロウィンゲーム用の



お菓子を準備したりと、BBQを楽しみしながら各々が作業を行いました。

11時、BBQスタート！風が強く、お血が飛んでいくハプニングもありましたが、美味しいお肉や焼きそば、フランクフルトなどを食べ、BBQを満喫していました。午後

は、ハロウィンお菓子づくりと綿あめ作りをしました。手作りの綿あめを頼って、一足早くハロウィン気分♪お菓子づくりのお菓子は、お土産として持ち帰る人もいれば、

その場で食べる人もいました。今回のレクも怪我や事故なく、無事に終えることができました。お菓子づくりは好評だったので、来年もハロウィンの時期が近づいてきたら、今回のような企画を実施したいと思います。



訪問ヘアカット

7月より訪問ヘアカットが始まりました。月1回、訪問美容師の松山さんに来ていただき、カットしてもらっています。作業の合間に変身できるので、好評です！

あなたもクローバーにいる間になりたい自分へ変身してみたいかがでしょうか。カット代は、1回2500円で、ご希望の方は職員までお声掛けください。



編集者

社会福祉法人 求道舎
青森県上北郡七戸町字館野三二一五
☎〇一七六一六二一三六三二

発行所

東北障害者団体定期刊行物協会
宮城県仙台市青葉区角五郎一―二二一六
頒価百円

おおばこ作業所

利用者レクリエーション

今年度の利用者レクリエーションは趣向を変えて、利用

者が①浅虫水族館②BBQ③十和田市秋祭り④イオンモール下田⑤カラオケの中から行き先を選択する形をとりました。

カラオケを選んだ方々は、もう少々お待ち下さるようお願いいたします。



新しい取り組みでしたが、みなさんとても楽しんでくれているようです。また、カラオケレクリエーションは開催できておりませんが、準備ができ次第お知らせしますので、



知事とのまるごと

元氣トーク

11月12日に、十和田市で青森県主催「知事とのまるごと元氣トーク」が開催され、管理者の附田が参加しました。

「農福連携による障がい者の活躍できる場づくり」と農業者の労働支援」について話をしてきました。



「農福連携」とは、農業者と社会福祉法人やNPO法人などの福祉団体が連携し、障がい者や高齢者らの農業分野での就労を支援する取り組みの総称です。障がい者や生活困窮者雇用や高齢者の生きがいの創出、介護予防といった目的があり、高齢化や過疎化が進む農村地域で、農業の維持や地域活性化につながると期待されています。「農業・農村における課題」「福祉（障がい者等）」「双方の課題と利益がある取り組みといえます。

おおばこ作業所では、平成25年から農福連携に取り組んできました。上北地域県民

局農林水産部から農福連携のお話があり、モデル事業として参加することになりました。利用者さんは実習で農家の方やJA職員と共に作業することで、働くことの意義を知ることができました。

上北地域県民局職員、JAゆうき青森、農家の方、保護者の協力があり、おかげさまで、作業所の前年度の平均工賃は1万円程度になりました。



法人研修

11月10日、七戸町柏葉館にて社会福祉法人求道舎研修会を開催しました。



今回はNPO法人重症心身障がい者サポートあおもり事務局長の赤平光定氏を講師に迎え、「成年後見制度について」をテーマにご講演いただきました。当日は約50名の方々が熱心に講演を聴かれていました。参加された方からは、成年後見人の必要性がよく理解できた。との感想が寄せられました。



クリスマスの喜びとは？

「わたしのためのクリスマス」となるために

野辺地教会 牧師
求道舎後援会会長 白戸 清

○初めに言（ことば）があった。言は神と共にあった。言は神であった。……
○言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いてい
る。暗闇は光を理解しなかった。

○言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。

「ヨハネによる福音書」一章1、4、5節、14節

○神は、その独（ひと）り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を
信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を受けるためである。 三章16節

※言、命・光、独り子＝神の御子、イエス・キリスト。暗闇＝この世、人間世界。

クリスマス、おめでとごとと聞いてくれます。

ざいます。皆様にクリスマス ほとんどすべての、と言っ
の祝福が豊かにありますよう ていいと思いますが、教会附
に祈ります。 属あるいはキリスト教信仰を

野辺地教会の附属施設「野 創立理念とする保育園や幼稚
辺地保育園」には百名を超え 園また学校では、毎年のクリ
る園児たちが毎日元気に生活 スマス礼拝において（聖誕劇）
しています。私の牧師として を行い、イエス・キリスト誕
の関わりの一つは毎週、三歳 生の出来事を聖書（特にマタ
以上児の合同礼拝で聖書のお イトルカ福音書の最初の方に
話、イエス様のお話をするこ 記されているイエス誕生物語）
とです。園児たちはいつも眼 を基にして台本を作り、演じ
を私に向けて聖話をしつかり ます。これを（ページェント）

と呼ぶこともあり。野辺
地保育園でも幼い園児たちが
マリヤさんやヨセフさん、羊
飼いや博士、あるいは宿屋だ
ったり、ローマの兵隊、さら
に物語進行役のナレーター、
また輝く星など、さまざまに
演じています。

いずれにしても、およそ二

千年前のクリスマスの出来事
をこのような劇にして毎年再
現することは世界でいろいろ
行っていることの中でも珍し
いと思います。キリスト教会
やその関連施設は、なぜ繰り
返し、クリスマスの出来事を
目に見える物語として演じ続
けるのでしょうか。

それは、クリスマスが遠い
昔の、わたしたちには関係の
ない出来事であったのではな
く、むしろ、今もわたしたち

の毎日の生活に関わる出来事
であることを心に覚え続ける
ためです。そして、クリスマ
スを祝うという神様からの愛
の贈り物の時が、わたしたち
が自分勝手に自由に楽しんで、

はい、終わり、とならないよ
うに、最初のクリスマスを中心
に覚えることを通して、わた
しにとつてのクリスマスの本
当の意味を考え、クリスマス
が「わたしのためのクリスマス
」であり、「わたしへの贈り
物」を頂く喜びとなるため
です。

最初に掲げた聖書の言葉は
新約聖書の四番目にある「ヨ
ハネによる福音書」からで、
「永遠の命」を受けるとは、

一度は死ななければならぬ
人が永遠である神様と結びつ
いて生きる時、罪の裁きと死
が人間への最後の言葉なので
はなく、キリストの復活の命、
神さまの永遠の命が人間にと
つての最後の確かな希望だと
いうことです。

クリスマス（キリストを礼
拝し、その誕生を祝う祭りの
日）がなぜ喜びかというと、
命を与える神さまがこの世、
すなわち、わたしたち人間を
愛していただくこと、そ
れがはつきりと示された
ことです。神の言であって、
メリー・クリスマス！

皆様、今年のクリスマス
はお近くの教会（のクリスマ
ス礼拝）で迎えませんか。ど
この教会も喜んで迎えてくれ
るものと思います。
ご一緒にクリスマスをお祝
いしましょう。